

PRESS RELEASE



陸上・洋上風力発電向け状態監視及び予知保全システム開発拠点
「川崎コントロールセンター」の稼働開始について

Dec 1st, 2022

DHI Press22120101

設備概要/川崎コントロールセンター

□施設名

川崎コントロールセンター

□施設所有者

株式会社電材エンジニアリング

□所在地

神奈川県川崎市川崎区浅野町9-1
※(株)電材エンジニアリング川崎本社に併設

□目的

- 1) 陸上・洋上風力の24時間監視
- 2) SCADAデータ及び状態監視データの集積
- 3) 風力予知保全システムの研究開発
- 4) 風力保守管理人材の教育・トレーニング
- 5) 風力関連設備の修理・補修

□設備概要

- 1階: エントランス/整備工場/トレーニングセンター
2階: 事務室/会議室
3階: コントロールルーム/サーバー室

□投資額

5億円



陸上・洋上風力向け予知保全システムの研究開発事業

販売促進戦略

<優位性>

- ✓ 運搬・建設からメンテナンスまで、自社機材・自社作業員でワンストップのサービスを提供でき、システム構築作業についても当社単独で担うことができるため、納期・価格・サービスの面で他社よりも優位性を確保することが可能。

<営業・販売先>

- ✓ 国内外の発電事業者や風力発電機メーカー（既存事業で既にチャンネルを有している）
- ✓ 台湾、韓国、東南アジアなど当社海外現地法人のある市場への事業展開
- ✓ 遠隔地の風力発電事業を管理している発電事業者との連携
- ✓ 風力発電事業にプロジェクトファイナンスする金融機関や保険会社との連携

修理費用

2,400万円/基・年

ダウンタイム

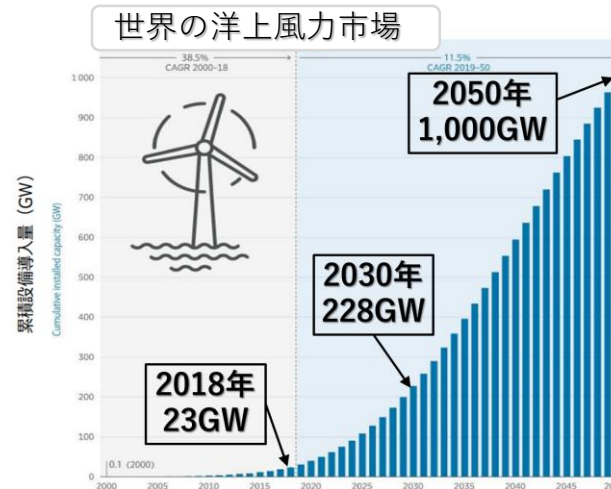
1,080時間/年

削減

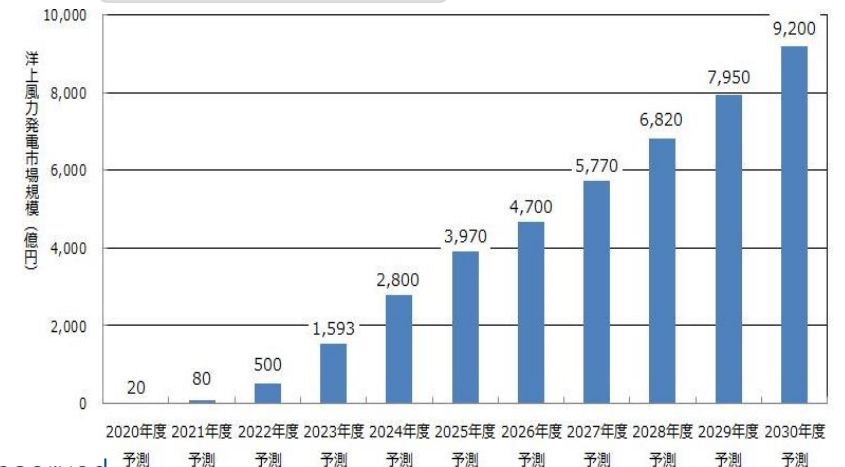
状態監視及び予知保全システムの搭載により想定される効果
(根拠：アメリカの国立再生可能エネルギー研究所の調査)

洋上風力発電市場について

- ✓ 世界・国内ともに洋上風力発電の導入拡大が見込まれている。
- ✓ 「グリーン成長戦略」では、洋上風力発電が重要産業分野のひとつに挙げられており、2040年までに4,500万kWの導入目標が掲げられている。
- ✓ 風力発電の開発・建設のための法律が整備されたことから、2030年に向けて本格的に市場が立ち上がっていくことが期待されている。

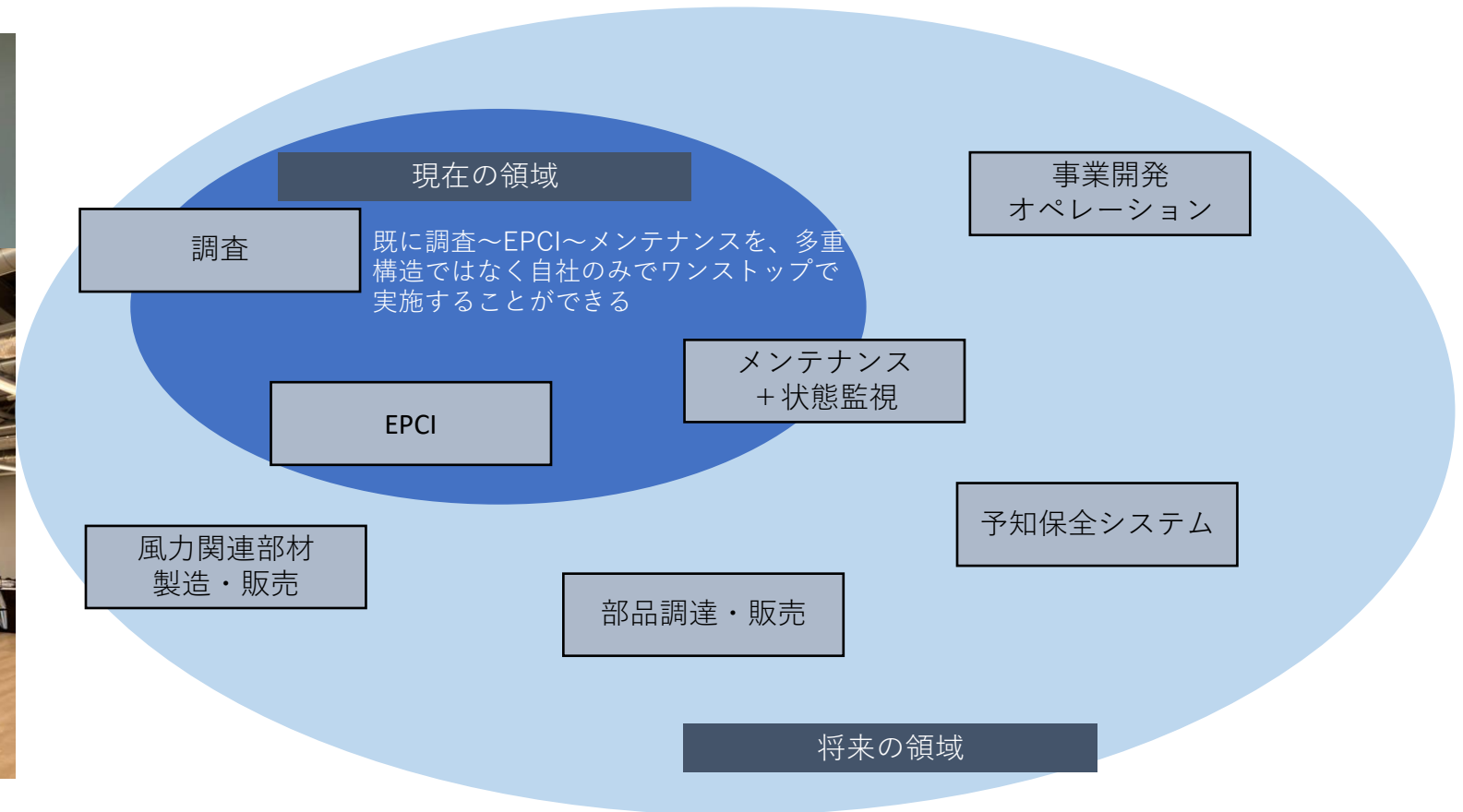


国内の洋上風力市場



DENZAIの陸上・洋上風力事業領域

- DENZAIは長年の国内外での実績とスキル・設備を保有し、洋上風力のバリューチェーンにおける幅広い分野を網羅しているが、さらに広い分野をワンストップで賄い、包括的な知識とノウハウを蓄積していくことで優位性を強化。



Change the Future, TOGETHER

CONTACT

米田明弘 Akihiro YONEDA

a.yoneda@denzai.group

+81) 080 8111 0747

